

# おうちの図工室・美術室

## いつものとびらを開けると・・・

対象学年 小学校4年生

想定時間 最低2時間～

### 題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

皆さんがいつも使っているトイレを、いつもと違う場所に変えてみませんか？おうちの人や、ドアを開けた時に「わあ！」となるかもしれません。楽しんでもらったり、喜んでもらえたりする「わあ！」だといいですね。身近なものでトイレの壁を埋め尽くすだけで、意外と雰囲気がガラッと変わります。

スーパーの袋、お肉のトレー、卵パックなんかはでこぼこしている上に透明で、新聞紙も遠くから見ると灰色の紙に黒いぶつぶつがあるように見えて、なかなか面白いですね。

自分が、「これは面白いかもしれないぞ」と思うものをトイレの壁につけましょう。つけてから変だと思ったら、やり直せばいいので大丈夫です。やりながら考えてください。材料の形や色を見て、トイレの壁のどこについたら「きまる」か考えながらどんどんつけましょう。

出来上がったら、お家の人を呼んでもいいし、反応を見るために黙って物陰から見てもいいです。楽しんでもらえるといいですね。数日間、存分に楽しんだら、元の状態に戻しましょう。その時も、どんな気持ちになるか楽しみですね。

- トイレがダメなら学習机の下や、靴箱の中、戸棚の中、引き出しの中などでもいいです。開けた時に「わあ！」となるところでやりましょう。
- 場所がトイレなら、まずはトイレをきれいにします。これはとても喜ばれます。靴箱の中も同様です。
- 楽しんだ後、元に戻せるように、材料用具を工夫しましょう。おうちの人に確認して、画鋲を使ってよければ画鋲、ダメなら両面テープやセロハンテープを使います。

### ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

共感性

他者の喜びをイメージしたり、おうちの人と自分の発見の楽しさを共有したりしながら、共感だけでなく、見え方や価値の違いがあることを受容することを期待します。

深く見つめる

いつもの場所、いつも見るものを違う視点、多様な見方で見つめ直し、それらがもつ形や色の特徴や印象を再発見することで日常の場が変化することの楽しさを感じ取ります。

### 三観点

知識・技能

壁に材料を張る行為を通して、材料と場の特徴に気付いている。

思考・判断・表現

材料と場の特徴を基に、どのように貼るか考えながら、新しい表し方を考えている。

主体的に学習に取り組む態度

様々な材料や表し方を試す中で、多様な物の見方に気付き、表現する喜びを味わう。

# おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



家にあったポスターやチラシを壁に貼りました。それぞれの紙の大きさや、使われている写真や字の色が違うので、壁のどの位置に貼るか、隣り合うチラシの関係はかっこいいか考えて活動しました。貼りながら、トイレにしてはちょっと賑やかすぎて、落ち着いた感じにしたいと思いました。

完成してみて、予想よりオシャレになりました。でも、それはそれで素敵だなと思いました。